

気象に関する情報

気象庁が発表する大雨及び洪水警報・注意報等

水害に備えるために、台風や大雨の際は、気象情報や洪水情報などに注意しましょう。

警報・注意報発表基準		発表の時期	発表の基準
注意報	大雨	大雨によって、災害が起こるおそれがある場合。	1時間雨量 50mm 土壌雨量指数基準:91
	洪水	洪水によって、災害が起こるおそれがある場合。	1時間雨量 50mm
警報	大雨	大雨によって、重大な災害が起こるおそれがある場合。	1時間雨量 80mm 土壌雨量指数基準:130
	洪水	洪水によって、重大な災害が起こるおそれがある場合。	1時間雨量 80mm
記録的短時間大雨情報		1時間雨量 110mm	
土砂災害警戒情報		大雨による土砂災害発生の危険度が高まったとき、町長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、県と気象庁が共同で発表する防災情報。	

【記録的短時間大雨情報】:大雨警報発令時に、現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために発表するものです。
 【土壌雨量指数基準】:土壌雨量指数基準とは、降雨による土砂災害発生の危険性を示す指標で、土壌中に貯まっている雨量の量を示す指数のことです。
 【流域雨量指数】:流域雨量指数とは河川の流域に降った雨水が、どれだけ下流の地域に影響を与えるかを、これまでに降った雨(解析雨量)と今後数時間に降ると予想される雨(降水短時間予報)から、流出過程と流下過程の計算によって指数化したものです。
 気象庁(全国警報・注意報基準一覧表)より抜粋 平成22年5月現在

特別警報について

気象庁は、平成25年8月30日に「特別警報」の運用を開始しました。

警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。

特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や松崎町から発表される避難指示・避難勧告などの情報に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	10mm以上 20mm未満	20mm以上 30mm未満	30mm以上 50mm未満	50mm以上 80mm未満	80mm以上
予報用語	 やや強い雨	 強い雨	 激しい雨	 非常に激しい雨	 猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	傘をさしていてもぬれる。		傘はまったく役に立たなくなる。	
屋外の様子	地面一面に水たまりができる。		道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
車に乗っていて	ワイパーを速くしても見づらい。		高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象)	車の運転は危険。	
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

出典:「雨の強さと降り方(気象庁)」(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)を参照